

	<p>大阪府</p> <p>すいたし 吹田市</p> 	<p>【データ】 ※平成 30 年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人 口:370,072 人 ・世帯数:170,244 世帯 ・面 積:36.09 km² ・市の花:さつき ・市の木:くすのき ・特産物:吹田くわい ・イベント:すいた祭り(7月) <p>【連絡先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当:健康医療部保健センター ・電話:06-6339-1212
<p>市長 後藤 圭二</p>		

◆吹田市の紹介◆

吹田市は、大阪府の北部に位置し、南は大阪市と隣接しています。古くから交通の要衝として栄え、現在では JR・阪急電鉄・北大阪急行・大阪モノレールの鉄道駅が 14 駅あり、平成 31 年(2019 年)に新駅も開業予定です。また、幹線道路だけでなく、名神高速道路・中国自動車道・近畿自動車道の結節点を有し、近隣都市だけでなく遠隔地との交通の便にも優れています。

市域南部を中心として多くの事業所が立地するなど産業集積都市の側面も持つ一方、市域北部には大規模な公園や千里ニュータウンを始めとするみどり豊かな住宅地が広がる美しいまちなみが見られます。また、5つの大学と1つの研究機関が立地する全国でも有数の「大学のあるまち」であり、多くの学生が吹田市で生活しています。

昭和 45 年(1970 年)に開催され、6,421 万人の来場者を記録した日本万国博覧会の跡地は、現在は万博記念公園として整備されており、太陽の塔を中心にして、園内には四季折々の豊かな自然が広がり、学びや体験ができる施設が点在しています。また、公園南側エリアには、平成 27 年(2015 年)に完成した「ガンバ大阪」のホームスタジアムである Panasonic Stadium Suita や大型複合商業施設「EXPOCITY」などがあり、吹田市のにぎわい創出拠点の一つとなっています。



Panasonic Stadium Suita

◆健康都市に向けた取組◆

1 「健康づくり都市宣言」

吹田市は、昭和 58 年(1983 年)に健康づくり都市宣言を行い、市民が心豊かで元気に生活できるよう、健康づくりに関する取組を推進しています。

健康は、心ゆたかで活力に満ち充実した生活を営むための最も重要な基礎をなす市民共通の強いねがいであり、本市がめざす“すこやかで心ふれあう文化のまち”づくりの基本理念でもある。本市は、この理念達成のため、市民の理解と参加を得て、健康づくり都市の実現に向けてとりくむことをここに宣言する。

昭和 58 年(1983 年) 10 月 1 1 日

2 健康すいた21（第2次）

健康すいた21（第2次）は、健康増進法に基づく吹田市健康増進計画（第2次）、吹田市食育基本法に基づく食育推進計画（第2次）、また、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例に基づく吹田市歯と口腔の健康づくり推進計画を合わせた、本市の健康づくりに関する総合的な計画です。

地域社会や市民の主体的な健康づくりを推進し、生活習慣病の発症予防と重症化予防などに取り組むことで、市民の健康寿命の延伸や生活の質（QOL）の向上を目指し、「健やかで心豊かに暮らせる健康・医療のまち」の実現に向けて取り組んでいます。

【主な取組】

- ・禁煙治療費に係る自己負担額を助成するなど、総合的なたばこ対策を推進しています。
- ・楽しみながら健康づくりに取り組めるよう、健（検）診受診や健康づくりのイベント・講座への参加をポイント化して商品等と交換できる健康ポイント事業を実施しています。

3 健康・医療のまちづくり～北大阪健康医療都市（健都）～

吹田市と摂津市の両市にまたがる北大阪健康医療都市（愛称：健都）において、平成31年（2019年）7月に市内で移転する国立循環器病研究センターを中心とした「健康・医療のまちづくり」を進めています。



国立循環器病研究センター完成予定図

健都には、国立循環器病研究センターに加え、国立健康・栄養研究所や市立吹田市民病院、医療・健康関連企業等の進出が予定されるなど、循環器病の予防医療・研究における国際級の複合医療産業拠点の形成を進めています。

また、国立循環器病研究センター及び市立吹田市民病院の協力・監修により医学的知見を取り入れ、楽しみながら健康に気づき、学べる、健都レールサイド公園を整備するなど、多様な世代が活躍できる環境整備を進めています。

健都では、多様な事業主体による医療イノベーションや健康でアクティブな新しいライフスタイルの創造などを通じて、健康寿命の延伸をリードするまちを目指します。



健都レールサイド公園

